

四月から市立診療所と休日急患・小児夜間診療所が一つになります

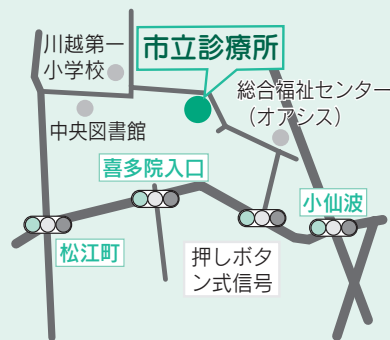
市では、四月から国民健康保険川越市立診療所および川越市休日急患・小児夜間診療所の機能を一体化し、新たに「川越市立診療所」として、市民の皆さんが必要とする医療を提供していきます。

所在地は今までと変わりはありませんが、二階にあった休日

急患・小児夜間診療所を市立診療所一階に移して診療するようになり、受診の利便性が向上します。

これに伴い、休日急患・小児夜間診療に関する問い合わせ先が、保健福祉推進課から休日急患・小児夜間専用電話（TEL223-0601）に変更されます。

案内図



受診に関する問い合わせ

平日の昼間の診療

TEL224-2648

休日急患・小児夜間診療

TEL223-0601

*かけまちがいにご注意ください。

市立診療所の業務案内

●昼間の診療（月～金曜日）

市民の皆さんの医療ニーズに応えるための診療を行います。

内科・小児科：通常の診療

整形外科：週一回診療。診療日は、事前に電話でお尋ねください

歯科：障害のある方も安心して診療を受けられる体制を整えています

健康診断：市民の皆さんの健康保持のため、生活習慣病予防健診（人間ドック）などを実施

●休日急患・小児夜間診療

川越市医師会・川越市薬剤師会などの協力を得て、軽症の急病者の診療を行います（小児科専門医でない場合があります）。

初期救急医療として最低限必要な応急処置のみを行います。

受診した翌日には、必ずかかりつけ医療機関を受診してください。

また、受診後に病状が急変したときは、すぐに救急車を呼ぶか、埼玉医科大学総合医療センターなどの二次救急医療機関を受診してください。

休日急患診療：日曜日・祝日・休日および年末年始の昼間と夜間に、内科および小児科の診療

小児夜間診療：月～金曜日の夜間に、十五歳以下の小児患者の診療

問い合わせ：市立診療所事務局・TEL224-2648▼保健福祉推進課保健福祉推進担当・TEL内線2513

介護保険地域密着型サービス事業者の事前相談を実施しています

市では、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型通所介護などの地域密着型サービスの実施を希望する事業者、指定に関する事前相談を随時実施しています。事前に電話連絡のうえ、介護保険課（本庁舎一階）にお越しください。

問い合わせ：介護保険課保険料資格係・TEL内線2570

～ひとくち情報～

ミニ・インフォメーション

～ひとくち情報～

- 「国民健康保険に加入している皆さん、所得の申告は済んでいますか？」 国保年金課国保資格係・TEL内線2479
正しい国保税の計算と均等割の軽減制度の適用判定のために、所得がない場合でも申告が必要です。
- 第5回埼玉県障害者スポーツ大会「彩の国ふれあいピック」出場者募集 障害者福祉課障害者福祉係・TEL内線2544
対象は、4月1日(土)現在で、13歳以上の身体障害者または知的障害者。3月17日(金)までに障害者福祉課または、総合福祉センター（オアシス）。日程・種目・会場についてはお尋ねください。
- 個別的労使紛争のあっせんをします 埼玉県労働委員会事務局・TEL048-830-6455
労働条件や解雇などを巡る労働者個人と使用者とのトラブルについて、あっせん員が意見の調整や助言などを行います。詳しくは、お尋ねください。
- 訂正 広報川越No1121・7ページ お知らせワイド
地籍図（公図）の閲覧および発行方法が変更されます 誤＝地積図 正＝地籍図



国際交流課国際交流担当・TEL 224・8811 内線 2142

なかさつないむら
中札内村

中札内村絵画展「北の大地2006」

二月七日から十二日まで、中札内村絵画展「北の大地2006」が市立美術館で開催されました。川越市と中札内村（北海道）との関係が深まったのは、「相原求一朗美術館」が同村に開館した平成八年から。この美術館では、川越の名誉市民・相原求一朗さんの作品を展示しています。その後、芸術・文化を通じた交流などが行われるようになりました。

今回の絵画展には、中札内村で二年に一度開催されている「北の大地展ビエンナーレ」



この展示会開催に当たり中札内村から川越にやって来た「黄土会」の皆さんと、「車楽会」の皆さん

ほとんどの作品が、中札内村を中心とした北の大地・北海道の壮大な自然を描いたもの。一つ一つの作品から、北海道の四季折々の美しい表情や、どこまでも続く広大な景色など、さまざまな北の大地を感じ取ることができました。また、会場では友好都市・中札内村の自然・文化・観光などの魅力を紹介するビデオも上映されました。訪れた大勢の皆さんは、中札内村への関心を深めていました。

ことし、相原求一朗美術館が開館十周年を迎えます。北海道を訪れる際は、ぜひ同館にお立ち寄りください。

人権教育シリーズ

児童・生徒の作文⑧

教育指導課指導係
TEL 224・8811 内線 2925

平成十六年度に川越市内の小中学生から募集した作文をまとめた人権文集「あけほの」から、作品を紹介します。

いつかこの世界から②

中学一年生

運動が大の苦手な私は、チームで行う球技をするときに、ボールが取れない、ちゃんとした方向にけれない、投げられない、そんなミスが多くて、いつもチームのみんなから非難するような目つきで見られました。そして時には、「ちゃんとしてよ。またあんたのせいであんなことを言われまじ」というようなことを言われまじった。私だって私なりに一生懸命頑張っているのに……。みんなが、だれ一人として理解してくれない。家に帰ってから大泣きしたことが何回あったでしょうか。また、両親に、

とがわかりました。そんなにたくさんの人々が日々、「言葉の暴力」を浴び、心に深い傷をつけていつてしまうことになります。心の傷はすぐには消えませんが。回復するまでに何十年もかかることもあるのです。

これからは、みんなが自分自身について、見つめ直す必要があるように思います。もし、自分の周りで「自分なんて生きる価値がないのではないか。」と考えている人がいたら、生きていること自体に価値があることを教えてあげたいと思います。

私は、一日でも早く、この世界からいじめや差別がなくなつてほしいと思います。それぞれの個性が輝くときを見ていたいと考えています。だれ一人として不幸な人なんていない、そんな地球をつくらたい。今を生きている私たちだけではないでしょうか。みんなが力を合わせていけば、もっと、もっと素晴らしい地球ができるというのを、私は信じています。

でも、今、よくよく考えてみると「つらいめ」にあっているのは私だけでなく、この日本中、いや世界中にたくさんの人々がいるこ

*ふりがなは広聴広報課で付けました。
(二部省略)

子どもたちを犯罪から守るパトロール

2月から3月にかけて市自治会連合会（自治連）は、支会ごとに防犯パトロールを行っています。1月から独自に続けている山田支会では2月21日、同支会の皆さんと自治連の江島喜一（えじまさいち）会長が山田小学校に集まり、下校する児童に安全を呼びかけました。「現在、防犯のため各自治会の皆さんが活動しています。自治連も重点事業として、これからも積極的に取り組んでいきます」と、江島会長。このあと、同支会の皆さんは区域内のパトロールへ出発して行きました。



「気を付けて」などの声が、子どもたちに

暮らし広がる
地域の



自治会活動から